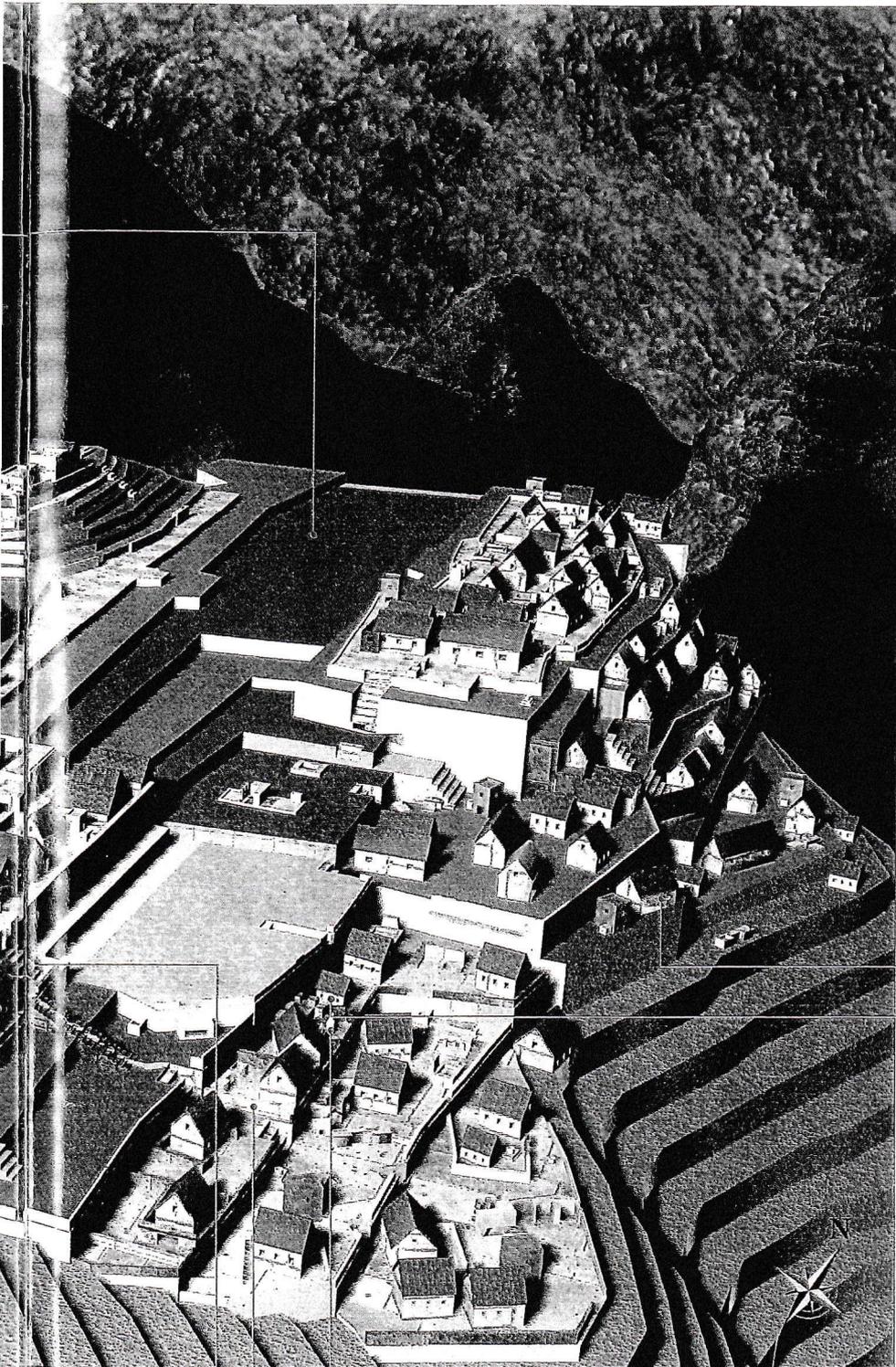


マチュ・ピチ

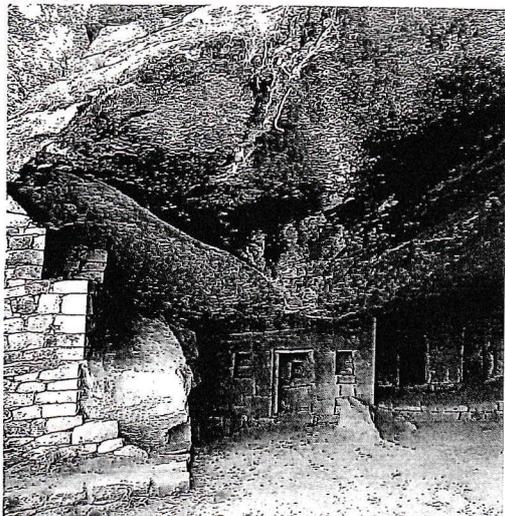
Machu Picchu

アンデスの秘宝 謎多き驚異の都市



ILLUSTRATION/Takanori Hoshi

Tomoko Suzuki



月の神殿 北側にあるワイナ・ピチの裏手で1936年に発見された。自然石を利用して造られ、内部には石の祭壇がある。

石臼 住居跡に残された石臼は「ミラ」を粉砕するに使用したとも考えられている。

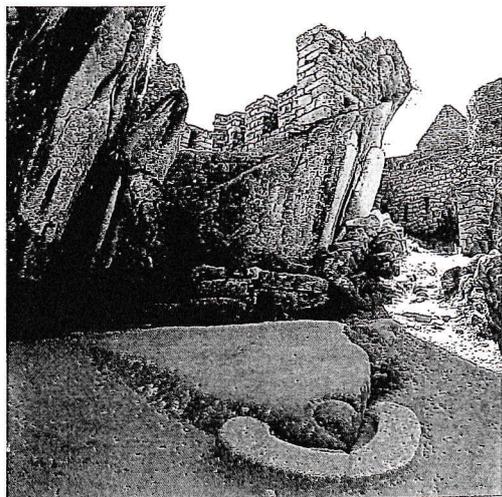
牢獄の広場

広場には、写真のように罪人を縛りつけたと考えられる石壁がある。一説には、ミラを安置する場所だったともいわれている。



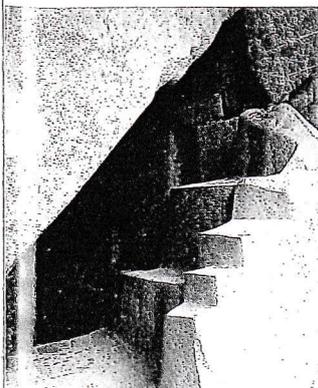
コンドルの神殿

地面に置かれた三角形の平石をコンドルの羽に見立て、後にそそり立つ二つの岩を翼に見立てた。インカ帝国では、コンドルは太陽神の使者とされていた。



大塔と陵墓

「大塔」下部には洞窟があり、内部の台形状の壁龕部分にミラを安置していたと考えられている。



階段

一枚岩を削って造られた階段。インカ文明の石工技術は非常に高度だった。石を切り出す道具に隕石も使われていたという。



Takeshi Ishikawa

水汲み場

水道橋などを通じて引かれた水は、「大塔」の脇を流れ、遺跡内16カ所の水汲み場へ配された。



Takeshi Ishikawa

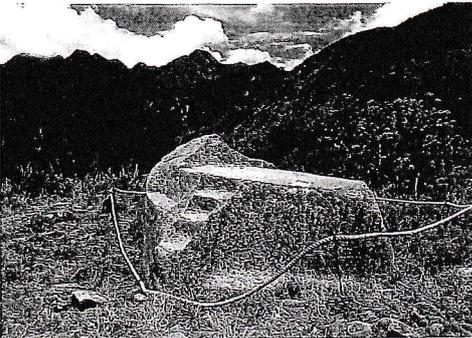


大広場 インカの宗教儀式が執り行われたと考えられる中央広場。南北両端の階段状のテラスは、住民の観覧席だと思われる。

Takeshi Ishikawa



神聖な広場 「インティワタナ」の南側にある小さな広場。写真左手に見える三つの窓が設けられた一角が「三つの窓の神殿」。



埋葬の石 「見張り小屋」の裏手にある一枚岩。生け贄を捧げた場、あるいは皇族をミイラにする準備が行われた場と、ピンガムは考えた。

Takeshi Ishikawa



墓地 段々畑のさらに上には、四角形に石が積まれた壁が続く。173体の人骨が発見されたことから、墓地と推測されている。

入り口

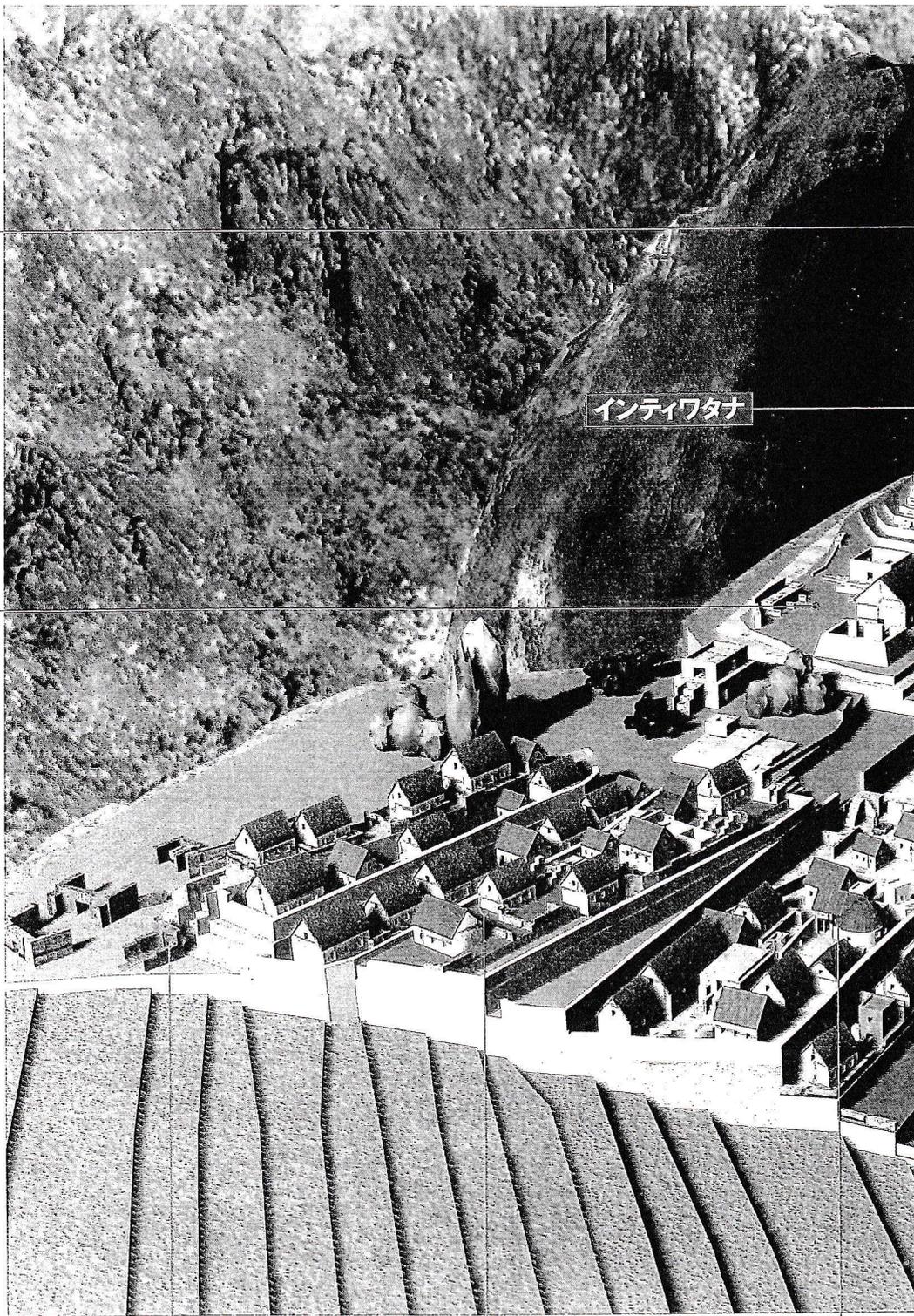
観光客用の入り口は別にあるが、当時はここが段々畑から市街地区への唯一の門で、両開きの扉がつけられていたようだ。



住居跡

水道はまず最上層に供給され、順次自然に下層へ流れ落ちる仕組みだった。高い場所ほど高貴な人物が住んでいたのではないかと考えられている。

Takeshi Ishikawa



インティワタナ